

第5 進路指導の重点

生徒各自の自己理解の深化を中核とし、自己の個性の開発に努める過程の中で、将来それをよりよく発揮できる方面への進路を見出し、人間の価値を認識させる。その際、特に重要な点は次のことである。

- (ア) 自己理解の深化
- (イ) 人間の価値の認識
- (1) 進路指導のすすめ方 進路指導の目標を次のようにを設ける。
 - 第3学年 自らの進路の展望に立って、就職なり、進学なりの進路をより具体化し、それに必要な教養や学力などの充実に努めさせる。
- (2) 進路指導の実施計画内容
 - (ア) あらゆる学習活動を通じて、生徒自身が自分というものを見つめるように、ホームルーム担任を中心に、全教職員が協同して、指導助言に努める。
 - (イ) あらゆる学習活動を通じて、人間の価値の認識に努めさせる。
 - (ウ) 組織的、継続的な観察によって、一人一人の生徒理解を深めていく。
 - (エ) 進路指導に必要な資料の収集によって、進路に関する指導助言にあたる。
 - (オ) LHRの充実に努め、下表の様なLHRを実施する。

進路指導に関する LHR の年間予定表

学期	3 年
1	希望進路の実現〔 〕 進路志望調査(4月) 進路説明会(5月) 本校の進路状況等について 進路説明会(6月) 進学・就職等の実情について 進路ガイダンス(7月) 面接練習・自己推薦書作成練習等
	希望進路の実現〔 〕 実験指導